

# 市政のここが聞きたい

3月定例会市議会では、3月5日、6日の両日、11人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。  
なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで3月定例会市議会会議録（6月上旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

## 〈頓宮美津子〉 子育て王国そうじやの実現について

**問** ① 待機児童の解消が進まない。妊婦の無料健診を14回まで増やすなど産みやすい環境を整えても、子育てでの厳しい状況があとには問題。待機児童の解消に向け、具体的対策を考えているか。また、県が創設する安心こども基金の活用を考えてはどうか。  
② 待機児童解消に貢献すると思われる幼保一体化が本市で進まないのは、どこに理由があるか。

**答** ① 昨年、保育園が新規に開園し、待機児童がゼロになると思いきや、2月に84人の待機児をつくってしまつた。その解消策として、まず幼稚園を活用して、午後4時までの預かり保育を検討、次に新しい保育園をつくることも選択、また定数の120%以内の入所を許可することも検討している。無認可保育園との相談、一時預かりについて

て緊急避難的なことを考えるなど、きめ細かな心ある対策を考えていきたい。県の安心こども基金の活用は、具体案をもつて県と相談していきたい。



昨年度開園した保育園

② 清音幼稚園スタイルの幼稚園ブースと保育園ブースに分けた保育、教育両面での成果があるが、幼保一体化のすれすれの線は預かり保育であると考える。預かり保育でだけが面倒を見るのか、教えるのか早く詰めていきたい。実際問題は、保育園は厚生労働省、幼稚園は文部科学省のカリキュラム、給与体系に

## 子どもの遊び場について

**問** 子どもが創造力で工夫して遊びをつくり出す

このほか、市民サービスについて質問しています。

## 〈渡邊繁雄〉 福祉行政について

**問** ① 老人福祉施設の待機者が増加する中で、第4期介護保険事業計画では

新たな携帯電話の基盤が広がるが、WHO（世界保健機構）の見解では、ガイドラインを下回る電波により健康に悪影響を及ぼす証拠はないとなつている。平成2年の電波防護指針では、人体に影響が生

ずる基準値から50倍の安全率を考慮して策定しているが、携帯電話や基地が人体に影響を及ぼす心配はないという結論である。今後とも電磁波による人体への影響は注意深く見守っていき

## 〈根馬和子〉 生涯スポーツを通じた活性化について

**問** ① そうじゃ吉備路マラソンを総括して、今後改善すべき点、充実している点など、様々な意見が出ていと思うが、来年に向けてどう生かしていくのか。  
② 山手地域づくり協議会が開催している吉備路ウォーキング大会は、参加者が多く、本市の魅力、歴史を知ってもらうには絶好の行事と考える。市の行事にして全国発信する考えはないか。

**答** ① ハーフマラソン、3キロがない、他のマラソンと日程が重複、スタートしてすぐ狭い道に入るようなコース設定など、反省



今年2月に開催されたそうじゃ吉備路マラソン

点があり、さらにレベルアップをして新しい絵社の売日曜日に開催したい。開催日は、来年度以降2月の第4日曜日に開催したい。様々な検討を行い、反省して心がけていきたい。

**答** ① 夏には、中条小学校の児童を山手に招いて、桃の収穫体験、ホームステイを実施。今年の冬には山手の児童が十日町に招かれ、雪の体験、交流が行われた。関係職員も視察し、私自身も雪祭りに招待された。子どもたちは、別れを惜しんで号泣するなど、郷愁を残してよい思い出をつくること

ができたようだ。実による。将来、総社の売り物になるという提言ももらっている。ウォーキング人口も増えており、本市もこの大会をさらに大きくしていきたい。

## 姉妹都市について

**問** ① 歴史的結びつきや人口、学校規模も同じの山手小学校と新潟県十日町市中条小学校の交流により地域を理解し、愛し、地域に貢献できる子どもの育成に成果を挙げているが、この事業をどう受け止めているか。  
② 福山合戦の歴史が取り持つこの十日町市との歴史姉妹都市を考えてはどうか。